向陽新聞
発行所
高知市春野町97
土佐高等学校新聞部
編集人　秦　洋一
発行人　浜田　晋介
印刷　高知印刷

高橋寫真館
高知市南播磨屋町
電話三一五八番

全国優勝の軟式野球
運動部のあり方に一石

練習なしでは無意味
学問、運動の両立困難
対立する二つの見解

軟式野球は一面掲載のように輝く全国優勝をなしとげたが、この軟式野球は夏休み前に本校旧中学野球部員が集ってつくられたもので〝部〟としては認められておらず、ふだんから練習していたものでもない。それが優勝しただけに運動部各部への影響も大きく、先輩から新聞部へ投書が寄せられるなど、運動部のあり方についてあらたに波紋を投げかけている。

軟式野球が〝同好の志〟の集りとして発足したのは七月二十日頃で新聞に軟式野球全国大会が開かれることがのっていたのをみて、旧中学野球部員が集り、一日一時間半の練習で試合にのぞみ全国優勝したものである。この軟式野球にたいして本校先輩の福島清三氏（28回生・早大・元本校応援団長）から新聞部に「練習しないで優勝したのでは意味がない。軟式野球も練習を」という意味の投書があり、一方運動部の中にも練習こそ運動部の生命だと軟式野球に批判的な意見を述べているものもある。

福島氏の投書

こんど軟式野球が全国優勝をなしとげたが、優勝したのはたしかにえらい。しかし学生スポーツの意義からも考えても、勝つためにも。僕達が優勝できたのはラッキーだったわけで、練習なしで出場したのでは四国予選も危いくらいです。今年練習なしで参加したのは、軟式野球の大会があることを知ったのが七月二十日頃だったためです。

また軟式野球のメンバーの一人である筆者は「硬式に入ろうと思っても練習が激しすぎ、現在の練習の状態では勉強との両立がむつかしく、また体も自信のあるものでなければ硬式部員には無理だ」と注目すべき発言をしており、本校のモットーとする「学問とスポーツの両立」もあらためて検討すべき段階にきているとみられている。なお軟式野球部は招待をうけ九月二三日、岡山玉野高校と対戦する。

しかし学生スポーツの意義からも考えても、勝つためにも。僕達が優勝できたのはラッキーだったわけで、練習なしで出場したのでは四国予選も危いくらいです。今年練習なしで参加したのは、軟式野球の大会があることを知ったのが七月二十日頃だったためです。

また軟式野球のメンバーの一人である筆者は「硬式に入ろうと思っても練習が激しすぎ、現在の練習の状態では勉強との両立がむつかしく、また体も自信のあるものでなければ硬式部員には無理だ」と注目すべき発言をしており、本校のモットーとする「学問とスポーツの両立」もあらためて検討すべきでしょう。学生スポーツの意義から考えても、勝つためにも。僕達が優勝できたのはラッキーだったわけで、練習なしで出場したのでは四国予選も危いくらいです。今年練習なしで参加したのは、軟式野球の大会があることを知ったのが七月二十日頃だったためです。

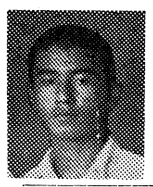
また軟式野球のメンバーの一人である筆者は「硬式に入ろうと思っても練習が激しすぎ、現在の練習の状態では勉強との両立がむつかしく、また体も自信のあるものでなければ硬式部員には無理だ」と注目すべき発言をしており、本校のモットーとする「学問とスポーツの両立」もあらためて検討すべきだ。

福島氏の勉強会

夏休みも利用して、八月十四日から、先輩の福島氏により夏の学力増進会が行われた。この会には中学一年生約五十名が参加し、英、数、国の三科目を受けた。

珍談をまじえた睡まい勉強会で、二十八日盛況裡に幕を閉じた。

板原君再び委員長に
期待される新四役



高校の生徒委員会では九月一日、生徒委員の互選によって新四役を決定した。委員長は前学期にひきつづき板原正伸君（二K）、副委員長には前田英次郎君（二O）が、えらばれたが、書記長に選ばれた梶真智子さん（二T）の辞退からまた書記長の再選挙が行われあらたに松村広樹君（二S）を選出した。

前学期に不良行為や盗難事件はいろいろあったが、これらの事件の処理は生徒会の進行係には久保地理介君（二H）が決定。

講堂命名と委員会
主張

長い夏休みもようやく終り、まだ休みぼけもぬけさらないうちに学問の秋もいよいよ深まってきた。それと共に夏眠状態を続けていた高校生徒委員会は四役を改選して新しく発足し、行事多い二学期をふみ出した。

その第一回の委員会の仕事として二年間ちゃわやのうちに過された本校講堂の命名に関する議題がとりあげられてきたのはちょっと了解に苦しむ。これはどうしても名前を募集する前に相談するべきであっただろう。そして生徒が名前を決めた後も、振興会に連絡してから、といって半年も待たせたことも学校としてまずかった一つである。

そのほか、高校委員長が改選のときの旧委員長との事務引継ぎもまずく、いろいろむだな時間を費して後取り上げられ、それに対する態度が明らかになった。

すなわち前学期委員会で名前をつけても実際決めた名前で呼ぶ場合はまずなく、現在の土佐中、高講堂でよいという決議を行い、中学、高校の全生徒にこの件を計り反対者はごく少数でこれを承認した。

講堂命名が提案されてから二年間たっているために当時提案された動機や理由については生徒会議事録によってそれを知る以外に手段はないが、その間講堂を憧の目で見ていたのだから、これを使わなれてしまった現在、当時満場一致でとり上げられたこの問題が今まったく逆の結果となったこともうなずけるであろう。

さらにこの問題の取り扱いにしても、全校生徒の問題であるにもかかわらず中学校生徒会には相談なく、高校委員会だけで事を運んでいったことについてもおおいに考えなければならない。一体高校委員は一般に中学生徒会を軽視する傾向が強く、よく中学側から不満の声を聞くが、両者は対等のものであり協力して行かねばならないはずである。だからこの点では当時の高校委員会は一つのミスを犯しているといえよう。

また学校側の態度にも問題があるすなわち委員会が決議した際に振興会に相談しなければならないとか借金の返済がすんでいないかまだまだとかの意見を委員会に注意していないことがある。そして全校生徒が投票して講堂の名前が決ってから右の二点を取り上げてしまったことなど講堂命名については数多くの反省すべき点を含んでいた。この観点からしても今度の決議で過去を清算して白紙に帰したことは大いに意義あることだといえるであろう。

委員会の特待生推薦

九月一日、始業式の席上高校、中学合わせて十四名の本学期特待生が発表された。

高校では昨年度の三学期から特待生の選考にあたって、本校のため活発に活動している生徒を特待生に推そうという声が起り、この案が委員会に提出された。委員会では学校側が特待生を選ぶ場合の参考にしてもらうため、候補者を提出しようということに満決し、各クラス一名の生徒委員からなる小委員会を構成した。原則として各学級一名あて六名の候補者を選出、委員会の承認を経て学校に提出しこの中三名が特待生に選ばれた。今年度の一学期も同様な方法で特待生候補者が選出され、この中三名が二学期の特待生に選ばれた。

生徒間からクラブ活動や委員会の活動を積極的に行っている生徒を特待生の候補者として推そうという声が起ったことは本校の発展のためにも貢献するところ大なるものがあると思われる。またこの建設的な意見をとりいれた学校の態度やクラブ活動や委員会活動に理解ある態度を示したものとして進歩的な態度であろう。

このような生徒の真の声に耳を傾むけ生徒と学校側は校長の言われる絵親和でお互いが相手を理解し合って本校の発展のためにつくすべきであろう。

しかし一方では特待生決定に委員会推薦の方法をとることを、特待生の価値が下ると非難した一生徒もいる。また特待生に選ばれた者の中にも委員会選出により特待生に選ばれるのを嫌う傾向があり、生徒自体反省すべき問題も残っている。

クラブ活動や委員会活動を行っている生徒は一般の生徒に比較して自由にできる時間は少いにもかかわらず相当な学業成績を収めている者は特待生に推薦する価値は充分にあるはずである。我々一般生徒はよくこの点を認識し、健全なるクラブ活動、委員会活動の発展のためにも常に協力を惜しんではならない。

上位に高二進出
東大の学力増進会

東大学力増進会の全国「学力テスト」は、七月三十一日本校でも行われたが、その結果がこのほど発表された。本校は本県ベストテンに七名はいっているが成績優秀者として発表された総点二百二十以上の三十人には本県から一人もはいっていない。なお全国最高は東京佐々木君の総点二百五十一点である。英、国各百点、解I・II各五十点、の（三百点満点）中総点百八十点以上の本県順位は次のとおり。

順位	氏名	学校	総点
1位	谷本　潔昭	土佐	二二五
2位	横山　働	土佐2	二二三
3位	久保　宏志	安芸	二〇四
4位	関　和一郎	土佐	一九六
4位	原　弘道	土佐	一九六
6位	松村　尚武	丸ノ内	一九五
7位	岡村　宏行	追手筑	一九四
8位	安岡　基之	土佐	一九二
9位	野中　道郎	土佐	一九一
10位	則岡　和雄	土佐	一八九
10位	西岡　公	安芸	一八九
12位	田中　紘一	土佐	一八二
13位	弘田　桂三	土佐	一八一
13位	開徳　倫子	土佐	一八一

試験を監督した大原氏（東大30回生）の話

全国的にみると本県はもうすこしの努力が必要だ。本県では本校が上位を多数しめたが、安芸の上位進出も自立つ。本校では上位に高二が多数いるので来年がたのしみだ。監督していて気になったのは注意事項をまもっていない者が相当いることで名前を忘れているのや、赤鉛筆で書いているのもある。科目別では英、数はよいが国語の基礎力がかけていると思う。東大の合格線は総点百八十くらいのところだろう。

第3回 四国四県高等学校弁論大会

土佐高校生徒委員会および弁論部、新聞部で高知新聞、ラジオ高知、NHK高知支局の援助を得て十一月二十四日（土）に本校講堂で四国四県高校弁論大会を開催。三回目を迎えたこの大会は「四国四県高校生の代表が一堂に会し政治、経済、社会、文化の各面にわたる意見を発表交換して、たがいに識見を高め、合せて若人のいつわりない熱意を社会一般に訴えると共に民主社会の健全な発展と世界平和の推進に寄与したい」と願うものです。四国四県の高校生の多数の参加と御来聴を望みます。

日時　十一月二十四日（土）九時三十分より（四時限終了予定）

場所　土佐高等学校講堂

演題　自由（制限時間十分）

出場資格　各校二人までとし原稿は審査によって十名採用、学校長の許可を得た者に限る。

審査員　高知県教育委員、高知短大、高知新聞社、NHK高知支局、本校より各一名ずつ

表彰　一位高知市長杯および賞品以下三位から五位まで表彰。全員に参加賞贈呈。

申込　申込用紙に所定の事項を記入の上、原稿を添えて十月廿日までに出して下さい。詳細は採用通知十一月十日。採用通知のときにお知らせします。

宿泊　宿泊を望まれる方には指定の旅館をお世話します

主催　土佐高等学校生徒委員会

後援　弁論部、新聞部、ラジオ高知、高知新聞社、NHK高知支局

消息

高知大学助教授の水野茂氏（本校16回生）は去る八月三十日氷川丸でアメリカに出発した。同氏は約一ヵ年間ニューヨーク市のコロンビア大学で勉強、その後英語の本家イギリスにまわり来年の秋帰国の予定である。

部告

本紙では同窓会、先輩大学生に聞く会などで購読者を募集した。この募集は現在もひき続き、行われており、年間の購読料金は一般二百円、学生百円です。希望者は部室までお申し出下さい。

本校の五記者参加
東京慶応大で高新連大会

全国高等学校新聞連盟の三十一年度大会は去る八月五、六日の両日慶応義塾大学医学部の北里講堂で行われた。参加校は約六十校で本校からは高一の吉川、秦、浜田、国見、山本の五記者がオブザーバーとして出席した。大会は第一日の規約改正に議事が乱れ標準語と方言がいりまじる大論争を演じて議長団の総辞職も行われたが、終始高校生らしいフンイキにつつまれ二日目は日本新聞協会の高須氏の講演などがあって二日間にわたる会合をおえた。この間本紙記者

ひとこと

機会あるごとに、我々生徒にお話になるが僕達も中学の下級生の頃は、本校に建学の精神があることすら知らなかったのであって、現在の中学生もその精神があることは知っていてもどのようなものであるかを知っている者は皆無に近い状態であろう。

▽…本校の前身は川崎、宇田、御両家が土佐から人材を輩出させる目的で建てられたもので、この目的を校長先生は建学の精神と言われていると思うが、創立当初と現在ではよほど社会の情勢も変化したし、人材といい意味も、もっと時代に即した解釈をすべき段階に来ていると思う。

▽…創立された当時の本校は人数も少く教育目的も、いわゆる英才教育であり、社会の指導的階層に人物を送り出すことにあったが、戦後十年を経過した現在では、教育目的も「一人の英雄を出すことよりも、民主的国民を育成することにあると考えられる。

▽…学生の本分は勿論勉強にあるから、これをさしおいて他を云々することは許されないが、建学の精神は単に学問のみを意味するのでなく、校内でのクラブ活動、委員会活動などを活発に行い、先にのべた民主的国民に必要な、豊かな教養を身につけることをも意味しているものであろう。

▽…我々は川崎宇田、御両家の建学の精神をより現代的な意味に解釈して社会の一員となるよう努力すべきである。（S・H）

▽…九月もはや中旬を過ぎ勉学の秋、スポーツの秋も、ようやく深まってきて、夏休み気分も去って大いに思索すべき季節を迎えたが、ここで我々は校長先生の言われる建学の精神について考えてみよう。

▽…校長先生は本校に入学を志願する者は、建学の精神にあこがれて応募するのだと近頃

建学の精神

同窓会総会　新旧分離案も出る
懇親会が中心の運営にも批判

氏部我曽

本校同窓会総会は、七月二十八日（土）に講堂で開かれ、約二百名の卒業生が出席した。

まず校長挨拶のあと今年卒業した三十一回生の幹事に宇田洋一氏ら四氏を選出、続いて協議にうつり会の組織や本校の現状などについていろいろの意見が述べられた。十六回生の水野氏は「いまの土佐高は旧制土佐中との性質がまるきり変ってきているので、同窓会もわけるとどうか」と述べた。これに対し二十九回生の福島清三氏が反対し、意見がたたかわされたが、会長の曽我部氏は「やはり今までの通りで変えない」とうち切った。また水野氏から「現在のように一クラス七十名もの多数で本校創立目的にそう教育ができるか」との質問も出たが、会長は学校側に答弁をもとめず、そのままここで協議を終ると発言。懇親会にうつった。

田内敏男君の話（中大・31回生）

先輩七十名を招いて
大学生に聞く会開かる

「先輩大学生に聞く会」は七月二十三、四日の二日間新聞部主催で先輩七十名、在校生二百名をあつめて開かれた。

一日目は山岸先生の話〝各大学の合格線と実力テストの成績〟があり、つぎの〝浪人生活と予備校〟の講演では浪人生活を体験した先輩の予備校や浪人のありのままの姿や、どのようにして困難を切りぬけるかについての体験談と参考語があった。

つづいて討論会「大学生活と土佐高生活」が行われた。

二日目は〝都会生活と経済事情〟の講演や〝大学、学部の紹介〟などが行われ、このあと〝各大学別の懇談会〟にうつり有意義な会を閉じた。この会を通じてとくに活発な意見が出た「大学受験と土佐高生活」をひろってみると

A　本校では古文に力を入れて現代文が軽く見られているようだが…。

先輩　現代文が弱いのは確かだ。私もそれで失敗した。

先輩　現代文は教師ばかりではダメ、本をたくさん読むことが大切だ。だから読書会などをつくって能率を上げるのもよい。

B　学校全体として現代文の方をよくやる傾向をつくってもらいたい。じっさい現代文は一年間に一定の教科書を済ませばならぬからやっているような感じがする。教科書をやるとしても〝六書〟くらいのものだ。かんじんの思想がつかめない。もっと若い現代の思想にマッチした生徒が必要だと思うなどの意見がでた。

中学編入中止
好ましくない人員増加

今年は中学の編入試験を行わなかったが、これについて西野教頭は次のように語られた。

受験希望者は多数あったが、今年から授業内容の充実のためにも出来るだけ生徒数をしぼる方針で一クラス六、六名とし、編入試験はとりやめた。これからの学校のことはまだ決っていないが生徒数の増加は好ましくないと考えている。

先輩訪問記 25
土佐高はキライだ
ブタバコ生活六カ月

—開業医—
（四回生）　沢本幸正氏

記者がお訪ねした時は往診にお出かけで留守。沢本氏は土佐中、一高、東大医学部と進まれ、現在日章村で内科を専門に病院を開業しておられる。

すぐお帰りになるとの事で部屋に入ると「レーニン全集」「毛沢東選集」など共産系の書物が並んでいる。しばらくして往診より帰られた氏と対面するや否や記者は、「共産主義を支持されているときいていますが」ときりだす。「僕の事に話がはずんで、その起りや制度および各国の状況などをくわしく説明して下さる。これには記者連圧倒された形。

医学方面に進まれた動機は？

「僕は初め電気方面へ進むつもりだったが画がへたでね。画の無い医科にした訳だ。いまでも時々、落第してもう一度試験をうけなければいけないといって苦しんでいる夢を見ますよ。東大に一度失敗したからですかね」

息子さんは土佐高出身（36回生）だそうですが、今の土佐高についてどうお考えですか？

いまの土佐高はあまり好きじゃないね。大体勉強しすぎる。生徒が多く世の中もせちがらくなったから、昔のようにはいかないんだろうが、土佐中時代は実に楽しかったですよ。勉強なんか全然しなかった。定期試験というのは無いから、先生の好きな時に試験をしていた。だから〝きょうは先生のキゲンが悪いから試験があるかも知れん〟といっているとあんのじょう答案用紙を持ってきたりしてね。数学の時間なんかのんびりしたもので生徒は皆自習で先生は質問を受けるのみだからいつも教壇で居眠りなんかしてね。それから、僕は脱線する先生が好きだね。そういう先生はそれだけ知識が広いし、脱線した話はおもしろいから不風潮におぼえているからね。大体おぼえなくてもよいといわれたものはよくおぼえているものだろう人間は忘れる事が大切ですよ。忘れる事によって進歩する、だから忘れても苦にしないことだね。

落ちてくるメガネを気にしながらたつかーそうに語られる。

共学についてどうお考えですか

「賛成だね。戦後の日本で一番良い制度だと思う。別学は不自然ですよ。昔僕等は、母と歩くのでさえ変な気がしましたね。それはそうと校長は元気ですか？

大分前に地区会があった時にね、校長にすすめ酒を飲まされたところが〝こんなまずい酒は飲んだことがない〟といって怒ってね」といいながら、人の良さそうな顔をくずして大声で笑われる。

最後に後輩にひとこと〝人生にはごまかしの答案を書ぬこと〟

（K・K）

らくがき

夏休みも終ってはや二週間以上すぎた。暦の上では秋だがまだ残暑厳しい毎日が続いている▼楽しかった夏休みを懐かしむのも良いが、もうそろそろ心を新たに勉学にいそしまねばならない。他の季節にくらべて、秋は最も人に期待をもって迎えられる。読書の秋、思索の秋、勉学の秋、スポーツの秋▼また、いろいろの行事が多く、中でも澄み切った秋空の下に、若さと健康に満ちた一日を心ゆくまで楽しむ運動会は、学生若人の夢を託す。しかし行事にまぎれて、うかうかと毎日をすごし、いつの間にか冬になっていたということもある。我々は勉学という学生の本分を決して忘れてはならない▼秋は考える時である。澄み切った秋空に目をやって、じっと考えてみよう。自分について、人生について、学校、社会について▼一学期の末、本校生徒としての資格がないとみなされた二十余名は、学校から存分に処分された。その内カンニングが六名〝人材の養成〟をモットーとする建学の精神についていま一度考え、自己を反省する必要がある▼今度カンニングの罰則が新しく改正（？）された。このような校則を設けねばならないようでは〝名門〟もあてにならない。人は「土佐高でもカンニングがありますか」と驚くが、あるのだからあきれる▼前々から叫ばれて来た校内明朗化は徐々に進められている、盗難も暴力行為も絶無とはいえないが前よりは少なくなった。生徒の服装、態度も良化しつつある。これは先生方の深い愛情と、生徒ひとりひとりの成長のあらわれであると思う▼校外に目をやると、最近「打倒土佐高」の声を聞く。本校の某先生曰く「打倒土佐高なんてナニクソ負けるものか。ワシラニヤかえって力が出るワ」いままで我々はのんきすぎた〝井の中の蛙大海を知らず〟でひとりきんでいた。学校の前途は生徒ひとりひとりの双肩にかかっているのである。この岐路にたつ我々はどうすべきか二度と来ぬ青春を有意義にすごすためにも自己のあり方について考えてみようではないか。

（M・S）

新刊・書籍・雑誌
金高堂書店
高知市帯屋町　TEL 3864

寫眞機と材料の店
D・P・E
ハタヤマ
高知市潮江橋南詰
土佐高生一割引します

時計・レコード
白牡丹時計店
オビヤ町下一丁目　電話1231番

答案の作製練習をはじめねばならぬ秋／そこで、正修通添部は正規の通添会のほか答案作製だけを指導する
答案作製の特別指導会を新設しました
英語・解I・解II・国語
毎月2回添削指導
第1回発送10月5日
申込受付中
内容紹介はハガキで請求しだい郵送……向陽新聞でみたこと付記
東京・千代田駿河台2の3　正修通添部　振替東京144069

学生服は専門店で…
修学旅行用御仕立します
学服組合　本町二電停北側　電2744番

参考書と辞典類は
最も豊富に取揃えている
新刊書雑誌　明文堂
堺町（四銀西隣）
TEL 295

MOTO DA
元田帽子店　高知市帯屋町2丁目
元田洋品店　高知市帯屋町1丁目

〝友よやすらかなれ〟

友情の墓参り続く

お母さんから感謝状も

夏のうだるような暑さにもめげず、高三Sホームの浪越君ら十六名、木校三十四回卒業生の梶田君ら八名は九月六日、昨年同日赤痢で亡くなった永野彰彦君の眠る秦泉寺の墓参遺族の人々といっしょにおとずれ、永野君の冥福を祈った。

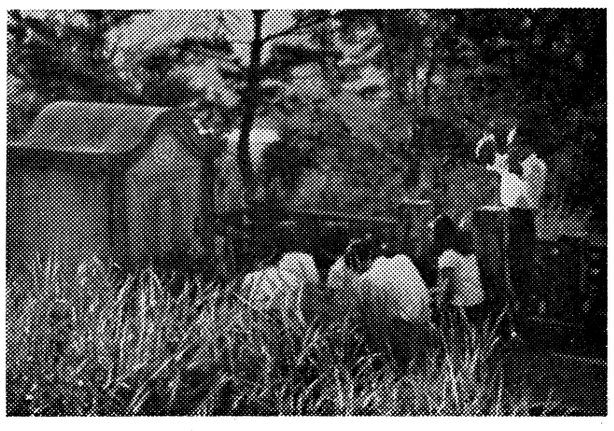
永野君は卓球部員として盛んに活躍していたが、同時にバスケットや野球もやるというスポーツ万能選手でその明朗な人柄はクラス全員から愛されていた。それが昨年二学期が始まって数日、一昨日まで元気だったのにと友人が驚くほど早く亡くなったのであるから、彼の死がクラスに与えた影響は大きかった。三Tホームには今も永野君の写真がかざられ、級友たちの墓参りが続けられている。また級友たちの間に卒業記念アルバムに彼の写真を入れようという話がもちあがり、アルバム委員の手で実行に移されている。

その二　八月十二日、筆山の南高昇の墓地に墓を清掃して〝友よやすらかなれ〟と默禱をささげる八名の木校先輩の姿がみられた。四年前の昭和二十七年八月十二日若くして逝った級友武市吉弘君の霊をなぐさめようと梶田君、武中君、野口さん、森本さんら（木校三十回卒業生）八名の墓参りが始まった。浦戸湾やたつかしい母校をはるかに下に見おろすこの高台で、静かに眠り続ける武市君は高一の夏小学校のクラス会のため暑い日中を東奔西走し、あの恐ろしい日本脳炎でなくなった。バスケットなどできたえた元気なスポーツマンとして活躍し、またひじょうに明るい性格の持主であった。

その一　三年Tホームの浪越君、高橋君ら故永野君の友人十六名は九月六日、昨年同日赤痢で亡くなった永野彰彦君の眠る秦泉寺の墓参遺族の人々といっしょにおとずれ、永野君の冥福を祈った。

永野君は卓球部員として盛んに活躍していたが、同時にバスケットや野球もやるというスポーツ万能選手でその明朗な人柄はクラス全員から愛されていた。それが昨年二学期が始まって数日、一昨日まで元気だったのにと友人が驚くほど早く亡くなったのであるから、彼の死がクラスに与えた影響は大きかった。三TホームにはいまS永野君の写真がかざられ、級友たちの墓参りが続けられている。また級友たちの間に卒業記念アルバムに彼の写真を入れようという話がもちあがり、アルバム委員の手で実行に移されている。

その二　八月十二日、筆山の南高昇の墓地に墓を清掃して〝友よやすらかなれ〟と默禱をささげる八名の木校先輩の姿がみられた。四年前の昭和二十七年八月十二日若くして逝った級友武市吉弘君の霊をなぐさめようと梶田君、武中君、野口さん、森本さんら（木校三十回卒業生）八名の墓参りが始まった。浦戸湾やたつかしい母校をはるかに下に見おろすこの高台で、静かに眠り続ける武市君は高一の夏小学校のクラス会のため暑い日中を東奔西走し、あの恐ろしい日本脳炎でなくなった。バスケットなどできたえた元気なスポーツマンとして活躍し、またひじょうに明るい性格の持主であった。



高見の墓地で武市君の冥福をいのる旧友たち

遠征決定には一考を

声

本校軟式野球愛好者が四国代表として、第一回全国大会に参加、堂々全国優勝を成しとげ、最近不振をかこっている運動部でひとり気を吐いたことは、まことに喜ばしい。そして心からその健闘に拍手を送りたいと思う。だが、ここに一つの問題がある。今夏の各部の遠征は十二部を数え遠征費要求額は五十万円に達したという。そして生徒からは中学、高校を問わず一人六十円が負担させられ、大部分学校経費から捻出された。この際、校長先生が、冗談に、「あんまり勝たずに、時々は負けてくれ」と笑われ、「遠征には制限を加えないとこのまゝではとてもまかないきれない」と、こぼされたときく。これには私も賛成で、一つの部で三つも四つも遠征することは考えればならないことだと思う。これはさておいて、遠征費の一部でも生徒会で負担する以上、委員会の承認が必要なことは云うまでもない。ところが軟式野球は向陽会の部として認められておらず遠征費は一切学校側が負担するということで遠征が認められたときく。既に休みに入っていた事情にもよるが、委員会の承認を経ることなしに、とぼしい財源をさいて部として認められていない軟式野球の遠征が認められたとすれば、原水爆禁止世界大会に参加した生徒にも当然旅費などは負担してやりたかったような気がする。

その他郵便友の会会員が県外の会に参加するときなど、この種の大会が有る場合今後学校として、いかなる方針でのぞむことになるか。

軟式野球にケチをつけるようで選手の諸君には申訳ないけれども、今後の参考のため、問題の提起をお許しねがいたい。

（高二・S）

校長先生の見解

このような投書のくるというのは軟式野球の本質を知っていない為ではないだろうか。

だいいち本校のため敢闘してくれた選手が気を悪くするだろう。軟式野球も硬式野球と同じ性質のもので、費用の大部分は主催者側の負担、学校からはほんのわずかしか出していない。

私が一人決めたというのも、大会参加出場の申し出があったのが緊急のことで委員会や先生方とも相談出来ずこの様にした訳だ。今後このようなことがある場合は、出来る限り委員会などに計る積りだが、やむをえぬ時は私が状勢に応じて判断して決める。だお郵便友の会や原水爆のことについては相談がなかった。また委員会で試合前に集まって試合だけに出るのはスポーツ精神に反するという意味のことが言われているそうだが、たしかに理想はそうだ。しかし実際は必ずしもそうでない。

試合は勝つためのものだから、試合に勝とうと努力することだけでも意味がある。

原水爆の禁止運動に参加

さる八日長崎で行われた原水爆禁止世界大会に県民の代表を送る費用と原爆患者への寄付金を集めるため、市内公立高校の学生にまじって、本校から田島征彦君（一H）等七名の有志が街頭に立って署名や資金を集めた。

つごうによって大会には参加できなかったが、勉強一辺倒の本校学生も社会運動に眼を開いたと関係者はみている。

不良行為　処分は二十六名

計画的カンニング増加

高一で見つけられたカンニングペーパー

右が英作用ペーパーで7糎×5糎の広さの中に、裏面で40の問題とその解答が記入され左は単語用で7糎×2、5糎の広さで裏面合せて150の単語が収められている。

向陽新聞の前号に本校にも不良行為が行われていることが、報道されたが、調査の結果次のことが明らかになった。

処分を受けた者は二十六名で、その内訳は暴力的行為二十名、他の不良行為六名となっており、暴力的行為を行った者の一名は退学処分を受けている。

暴力的行為では女生徒や友人を恐喝し金品を強要するのが多くちょくせつ暴力をふるう者は少ないようである。

暴力行為以外の不良行為でもっとも多いのはカンニングで、停学処分六名を出し、この中には一カ年の長期間におよぶものもある。

この中でも隣の答案をのぞき込むような偶発的なものより、鉛筆・机・消ゴムなどに書き込む計画的なものが増加しており、学校側もこの対策として、従来停学三日でカンニングをした課目のみ点を与えないで、それ以後の授業は停止する方針をとっていたのをさらに強化をしてこ以後の課目は停止するだけでなく、いままで受けた課目にも点を与えないことにし停学十日間と決定した。

生徒部では暴力的行為やカンニングの原因は、外部の不良から受ける影響や本人の意志の弱さにあるが、現在のところ不良化の傾向のある生徒を善導する以外に方法はないと語っている。

夏休みの運動部遠征

勝利の陰に在阪本県人

軟式野球

夏休みを利用して各部が遠征、数多くの戦績をもち帰ったが、なかでも四国代表として勝利を収めた軟式野球が市原投手を中心に奮闘、輝く優勝旗を獲得した井寺球場の全国大会へ出場した軟式野球

▽軟式野球△

全国高校野球連盟主催の第一回全国高校軟式野球大会はさる八月二十六日から四日間、大阪の藤井寺球場で開催された。

本校には軟式野球チームがなかったので、緊急に旧中学野球部員が〝有志の集い〟という形で出場した。正式に生徒会から〝部〟として認められてはいないが、一同よく健闘し初の全国征覇をとげた。

まず予選では高知県、四国と簡単に勝ち進み、全国大会にコマを進めた。

八月二十六日　本校チームは一回戦延長十三回で一対〇と高崎高校を下し、さらに福島高校を三対〇で、三対一で惜敗した。

▽ハンドボール部△

七月三十日　松山北高で行われた全国ハンドボール大会に出場、二回戦で佳吉高校と対戦し、十二対六で破れた。

▽ソフト部△

ソフトボール部は大阪西宮球場の全国大会に参加、一回戦は不戦勝となり、二回戦に駒を進めたが、安城高校に7A対1で敗退した。

▽水泳部△

八月四、五日の両日　松山東高校プールで行われた四国高校水上選手権ならびに全国高校四国予選に出場。自由型二百米で浜田選手が二分十七秒二の大会新で第一位、バタフライに出場して第二位になった河野選手が百米、二百米でそれぞれ一分十二秒〇、二分四十三秒〇の大会新を出した。団体戦では第四位を獲得。

▽剣道部△

八月九、十日　会津若松市で開催された全国しない競技選手権に参加したが、選手が固くなったためか一回戦で敗退。

▽庭球部△

伊勢市の全日本庭球選手権に出戦二回戦で敗れた。

丸亀市の四国大会では団体四位、個人選では大野、畑山組が準々決勝に進出、期待されたが敗れた。

▽卓球部△

横須賀市で行われた全国高校卓球選手権に出場、団体では二回戦に新潟商校に三対一と大勝、二回戦の対浜松西校では逆に一対三と敗退した。ダブルスでは三回戦まで順調に勝ち進んだが、四回戦で福岡校に一対二で惜敗した。

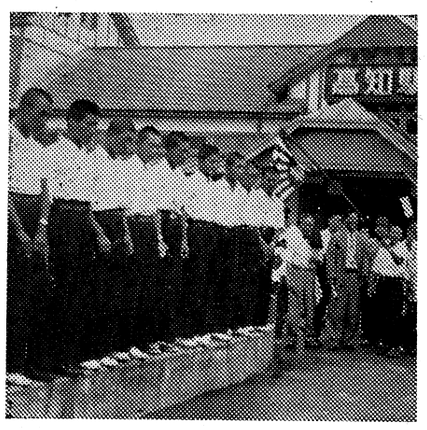
北海高校には二対一の逆点勝ちで決勝戦にのぞんだ。

決勝戦は大会随一の優勝候補である中京商と対戦これを一対〇と倒し、完全な番狂わせを演じて優勝した。

その勝利の陰に本校チームを親身にねぎらってくれた人がいた。その人は、在阪高知県人の井上正枝氏で、市原投手、上田選手の病気の時など自分で医者を呼んで、親切に看病してくれた。

▽サッカー部△

八月四日　熊本県水前寺競技場で行われた全国高校サッカー選手権大会に、高知県代表として出場、一回戦に宮崎県延岡向津高校と対戦、三対一で惜敗した。



高知駅前広場で歓迎を受ける軟式野球チーム

全部数たった三千

図書部藏書を整理

図書部では来学期完成する予定の新しい図書館への移転準備として夏休みを利用し、本校先輩公文憲太郎氏（二回生）の指導で全藏書を整理した藏書は全部で二千七百四十六册で、現在の図書準備室でもスキスキだが新しい室にいれる半分にも満たないというありさまである。このため図書部では部数を増やす方法として映画祭を催したり、また全校に運動を起して生徒から寄附をあおごうという計画をたてているが、早急には実現されないもようである。

校内水泳大会終る

委員会への協力を

第八回校内水泳大会は台風のため一日延期、九月十一、十二日の二日間にわたって行われた。

今度の大会は選権者が多く特に女子で全種目出場したクラスは一つもなかった。男子種目でも三分の一の選権者があった。これに対して板原委員長は、多数の選権者を出したことは申しわけない。根本的には生徒の協力がなかったことで委員会に対する協力性が認められていないと語っていた。

好評の本校作品展　美術部主催の校内作品展は九月十日―十四日迄行われ、夏休み中の生徒の作品を展示し好評を得た。

【高崎先生談】

本校の生徒は絵のセンスはあるが旧来の技術的見方に支配されて本領を発揮していない。もっと自分の主張をどこまでも追求、表現していく気魄がほしい。本校のレベルは高知県でも高いので、今後は校外展も開きたい。

女子制服の学校案出る

生徒から女子の制服設置を望む声が高く、小委員会を開いてきめることになっていたが、このほど女先生の間で学校の案が発表された夏服袖丈は肩とひじの中間で、衿はカクかまたはマルで、巾七―八㌢のもの。合服は夏服の袖を長くした形でカフス巾五―六㌢程度。冬は背広を着用し、色は黒または紺を規定、ブラウス代りのセーターは認めないがそれだけでは寒いので、ブラウスの下にセーターや袖なしチョッキ（毛糸）を着用するのはかまわない。

スカートの丈は高校が床から二五㌢、中学が三〇―五〇㌢、ヒダ数は二四とする。靴下は長いのは黒が肌色、ソックスは紺に限る。生地は木綿。ナイロン類は良くない。また男子の場合、ソックスは紺に限って着用すること。

服装を定める目的について千頭先生は、「制服がないと自然服装がはでになりやすい。だから学生らしく、質素な運動しやすい服装を定めて みんなに守って もらいたい。」と語っていた。

板原委員長の話

これが最終決定ではないが、この線にそってきまるだろう。一般生徒の意見をよく聞いて不満を少なくし、学生らしい服装にしたいものだ。

〝ピッ〟ってネ

一水の迷監督

全国優勝をたしとげた軟式野球の監督にマツリ上げられた竹村一水先生、全国の強豪と四つに組んだのはいいがサインの仕方一つ知らない。かくなるえは敵のベンチを攪乱させようとデタラメのサインをはじめた。ヒットエンドランをやりそうな気配を見せてメガネをはずしたり腕を組んだり、「むこうもこれには相当なやまされたらしい」とは竹村先生の言だが、まことに鼻のあたりのがずかゆくなるような話、全国優勝もこんなところに原因しているのかも知れないとは日の悪い生徒の弁。

味わい過ぎたスリル

サッカー部が八月一日高知駅出発の際、ホームに降りたっていた一部員、発車のベルを耳にしたが、スリルを味わうために列車が動きだしてから乗ろうとし、ホームのはしまで追って走ったが失敗。さんざん口惜がったが後のまつり。

さすがの大将も

土佐の名誉をになって東京まで遠征した水泳の浜田選手は腰にネブトができたため、プールに通う間もバスで立ち通し。食事のときも横になって食べたとのコト。

隣の分まで

ペロリ

庭球部では二人ずつ別れて旅館をとったが、高一の二人組が泊った旅館では、大きなテーブルで他の学校の選手達と多勢で食事。ゴチャゴチャした食卓に面食った二人は、どれがどれやら区別がつかず隣の人のぶんまでスッカリ平らげてしまった。

眠ったビヤダル

庭球部顧問のビヤダルこと西山先生、遠征先の伊勢市でのある晩のこと。

選手の疲労をねぎらうためナイトショーをおごる決心をした先生は皆をひきつれてゆうゆうと館内に入った。ところが当の先生、観覧はさておいて椅子にもたれてグースカピー。せっかくの映画観覧も名目だけとなってしまった。寒いふところをふりきって選手を楽しませてやろうとは何と涙ぐましい一念ではないか。

新任紹介

平林先生

このたび織谷先生の後任として平林泰人氏が就任された。

先生は、「英語はいくら勉強してもやりすぎということはなく非常に努力を要する学問だから、辛抱強く愉快にやっていこう。私もビシビシやっていく積りだ。」と語られた。

なお先生の任期は来年の三月末までとなっている。

ちょっと失礼

吉本要先生の巻

秋らしい風の感じられる八月二十二日、香美郡日章村にカマスとり吉本要先生宅を訪問した。

「遠方じゃにまあよく来てくれた」

とゴマシオ頭を振りたてて垣根越しに笑いかけられる、どうみてもこえ臭い田舎のオンチャンという感じ、このオンチャンが教室では我々の頭をムチでビシビシなぐるんだ、誰がって想像できそうもないがけに記者連は一種異様な感をうけたのである。

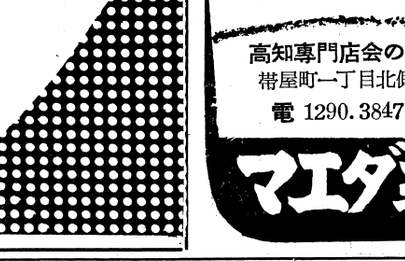
座敷へ上るとすぐに奥さんが梅酒をもって出てこられた。一同（ははあなるほど酒の一家だな）と心のうち、「先生お酒はいったいどのくらい？」二升、三升はあめる程度だろうと期待したが意外や答は「まあ五合ぐらいじゃろう、昔はもっといけたがしい」先生は師範学校卒業後すぐ第一高女の数学教師としられた。「女学校の頃は生徒を相手に庭球をやったが、まあ生徒が女生徒だから負けんぐらいにはやりよった」これが本校の庭球部監督カマスの幽前である。

この時奥さんが心配そうに尋ねられた「まあ庭球の試合いらてよるあるものですねえ、日曜ごとに出ていきますぞね、あたしゃあまりあき試合じゃいうのは嘘じゃないかと思って」？

その時記者ふだんのくせが出てつい「カマ、カマ……」とやってあわてて口をおさえる、すると奥さん「カマスでしょう」と笑われた。カマスというアダ名の由来については「第一へ行ったあくる日からカマスと云いよった。ある生徒はわしの語しぶりがそっくりじゃたんでいうけんどハハハ。わしのカナメという名から来たのかも知れん」それから数えて四十年霜草いものである。一番印象に残っているのは十佐中の校舎が焼けた時その時先生は宿直だったそうです。本校で一番古い先生で校長より一カ月前に土佐中へ来たと言られる。わが校生徒の母親の約三分一が第一高女でカマスに習ったといわれるから親子二代の恩師という事になる。教室でトチルとすぐ「母親は誰か？」と聞われるから恐ろしい限り。尊敬する人物については「僕は地味な男で穴を掘ってそれを埋めていくという性格がからね、脇の人は尊敬すべき人に見えて……」とかウヤムヤにし、数学をやりはじめた動機も「僕はしゃべるのがいやじゃき」とケムにまかれた。マッタク十佐の古ダヌキ、いや古カマスの面目ヤクジョたるものがある。

ある先輩が「土佐高の天然記念物的存在だ」と云われたごとく土佐高随一の名物オヤジ、いくら生徒の頭をムチで叩いても苦情が出ないでカマス〳〵と親しまれ懐かしまれるのもそのムチに生徒を思う愛情がこもっているユエンであろうか。「人事をつくして天命を楽しむ」これが僕の主義だと分をさす先生のお顔は幸福そのものであった。

（Y・H）



写真は　記者のためにわざわざカキをもいで下さる先生夫妻

吹鉄

御住所は、高知市種崎四区。

▽…七月二十三日　行われた『先輩大学生に聞く会』での話席上で一席ぶったある先輩、皆を陶スイさせその成功に満足していた矢先、玄関に出てきて驚いた。

▽…さきほどまで鎮座していた真新しい桐の下駄が影も形もない。生徒はもとより小使さんまで動員と相成ってさがしたが見つからない。ボウゼンとした先輩曰く「土佐高もこんなことではね。向陽新聞も嘘は書かんよ」（S・H）

M・S劇場

26日より　恋愛時代　争斗の丘

4日より　ナポレオン　若い河

喫茶　再会　高知京町　TEL.5507

メガネ専業　高知市ハリマヤ町　TEL 998　イリキメガネ店

古本は誠実で安い　井上を　古本売買　井上書店　高知市帯屋町中ノ橋　TEL 3921

カメラはキタムラ　高知市堺町　TEL 860・3154

はりまや薬局　はりまや町交叉点　TEL 2665

珊瑚製品ならびに装身具　池田珊瑚店　高知市帯屋町一丁目　TEL 358

土佐高中学校指定服　高知専門店会の店　京屋　高知市京町　電928